

斯クテ同日午後二時ヨリ工場内休憩所ニ於テ對策委員會ヲ  
 開催（青木源三郎以下三十名ノ對策委員全員出席）  
 協議ノ結果右面答ハ要求事項ニ全然牴觸シ居ラサルヲ以テ  
 之ヲ一蹴シ初期ノ方針通り邁進スルニ決シ午後二時半  
 青木源三郎以下十名ノ實行委員ハ小林工場長ト再會見シ此  
 ノ旨傳達シタル後對策委員會ヲ續行シ結局會社側ニハ全ク  
 誠意ナキヲ以テ飽ク近日的貫徹ヲ為メ進ムニ決シタル  
 ノ尚之カ空氣ハ廠場ニ反映シ同日午後三時頃ヨリ織機部ノ  
 一部ニ急業気分ヲ現出セリ

(6) 勞資會見及要求書ノ提出  
 五月六七日又計續キ紡績科ノ一部其ノ他ニ急業気分アリタ  
 ルカ尚組合側ヨリ五月七日午前八時工場側ニ會見ヲ申込ミ  
 同日午後零時三十分ヨリ同日二時迄支部長青木源三郎以下十  
 名ノ實行委員ハ小林工場長外三名ト會見シタルカ結局工場

長ヨリ前田田答セルカ如ク現行四月ノ休日ヲ二日ニ減シ以  
 テ實収ヲ鉢ル以外ニ其ノ方法ナキ旨繰返シ説明シ何等得ル  
 トコロナク會見ヲ終リ同日午後二時ヨリ同日三時迄工場内休  
 憩所ニ於テ對策委員會（出席者對策委員三〇名）ヲ開催協  
 議シタルニ相續議論沸騰シ

A. 正式ニ要求書ヲ作成手交シ、上行動ニ移ルヘシ  
 B. 即時此ノ僥倖直接行動ヲ以テ生活権ヲ獲得スヘシ  
 C. 兩案ニ分レタルカ逐ニA案ニ進ムニ決意シ左記ノ  
 如キ要求書ヲ作成シ直ニ之ヲ小林工場長ニ手交セントシタ  
 ルニ不在ノ為メ翌八日午前九時森島務長ニ手交セリ

記

要 求 書

物價騰貴ノ現勢ニ鑑ミ全工員ニ對シテ全収入ノ二割ノ臨時  
 手當支給ヲ要求ス